

檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

今年もお盆の季節になりました

コロナも5類に移行し、ようやく以前の日常に……というか、いわゆるウィズコロナの生活になりました。マスクを外す機会も増え、季節ごとの空気をいっぱい感じる事が出来る日々。当たり前の事なのに、とても幸せに感じます。夏の様々な行事も、今年はコロナ以前のように開催されるようです。八王子市では「八王子まつり」という大きなお祭りが8月にあります。昨年は直前で中止となつてしまいましたので、楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。お寺では昨年に引き続き、皆さまをお招きしての盆総供養を開催いたします(詳しくは裏面をご覧ください)。暑い時期でもありますので、それぞれご参加の際はご無理なさらずに。

寺務長 関根

お盆の飾り をしまししょう



- ① テーブルにマコモを敷く
- ② 四方に笹を立て麻縄で結ぶ
- ③ 位牌香炉燭台花等を飾る
- ④ 茄子や胡瓜で馬と牛を作る
- ⑤ 蓮葉に夏野菜の粗みじん切りと生米を乗せる「水の子(みずのこ)」
- ⑥ 膳をつくり供える
- ⑦ その他、そうめん、果物など夏の食物を供えください。

葬儀に まつわる 四方山話

新型コロナウイルスが感染症5類に変更になり、マスクも自由化、再び活発な経済活動ができるようになってきました。喜ばしいことです。葬儀の様子も様々変化はありましたが、これからはアフターコロナ、以前とは違う形で、どのように仏様をお祀りしていくか、試行錯誤が始まっています。

コロナ禍の中、大幅に縮小していたお葬儀に対処するのには、葬儀業界は四苦八苦のようでした。葬儀屋さんもビジネスですから売り上げがなければいけないわけで、なんとか利益を出すのに、厳しい経営を強いられていたのです。

その当時、いくつかの業者ははつきりと「数字優先主義」を取りました。多少強引でも売り上げの数字を出せればよい。すると割り増し請求や、説明になかった経費を請求され、トラブルになったケースも多かったのです。今までもあった、ご葬家やお寺とのつながりを壊しても、利益さえ出ればそれでいい、という姿勢を取った業者もあったのです。

今になってみると、長年お付き合いをしてきた業者さんの、葬儀に対する姿勢が変わってしまったなと思うこと

がしばしばあります。一度崩れた信頼関係は元には戻りません。大事な檀信徒を利益第一主義の業者に任せるわけにはいかないのです。中には私のほうからはつきりと「今後はお付き合いいたしません」「宝泉寺檀信徒のお葬式はあなたの会社にはやってほしくない」と言うケースも出てきました。お葬式はチーム戦です。御葬家とお寺、そして業者がワンチームになって亡き方の最後をお見送りする。それが私の理想です。とくにお寺と業者は高いスキルで円滑にお葬儀を行う責任があります。そして、そこには互いの信頼が不可欠なのです。

病院などで紹介されたり、インターネットで探してきたお葬儀屋さんがどういう会社か、一般にはわからないと思います。しかし、少なくとも西東京地区のお葬儀屋さんがどういふ会社なのか、お寺は知っています。ですから、どうか万が一の時には、お寺に第一報を。お寺から、きちんとしたお葬儀のできる業者を手配します。また葬儀の事前相談をご希望の方も、まずお寺に。信用のおける葬儀屋さんをお呼びして、お寺で相談をすることができます。

法話のコーナー

「塔婆供養」

お墓にお供えするものと言え、お線香、お花、供物ときて、お塔婆があります。宝泉寺の塔婆は五尺塔婆と言われるもので、長さが約150cm、幅7・6cmの木の板で作られています。表面に仏名や経文、それぞれのお戒名と、施主の名を書き、裏には立塔日が書かれています。

「供養を行いましたよ」という証にするために、年回忌やお盆、お彼岸、お施餓鬼などの法要に合わせて奉納するのですが、その昔は、木の板ではなく、本当の「塔」を建てました。五重塔や三重塔などです。これらの建物は元々「仏舍利(お釈迦様のご遺骨)」を納めるためのものでしたが、やがて施主の信心を表すためものとして建立されるようになりました。

しかし五重塔を建てるというのは誰でもできるものではないかもしれません。そこで本物の五重塔を模して建立されるものが、現在のお塔婆の形になりました。

確かにいまお墓に建っているお塔婆を見ると、上の方にいくつかの切り込みがしてありますね(写真参照)これは五重塔を表現しているのです。



さて、西日本地域では、「塔婆供養会」という行事が盛んに行われています。水塔婆、経木塔婆と呼

ばれる小さな塔婆に戒名を書いたものを仏前に奉納し、導師が次々に読み上げていくのですが、その際に塔婆供養御回向文をお唱えします。

「うやうやしく如来宝前に額づきて 手向け給いし卒塔婆を拝しては 只一枚の卒塔婆でも死出の山路の杖となり わずか一重の卒塔婆でも三途の川の橋となる ああ有り難や 手向け祀りし御心は 御仏に結ぶ綱となる」

お塔婆は供養の証と申しましたが、その供養を差し上げたいという皆さんの心こそが、亡き方の冥土の旅の大きな助けとなり、私たちを御仏と結ぶ大きなつながりとなるのです。

一度、佐賀のお寺でこの塔婆供養の導師をさせていたいただきました。一時間以上、必死に水塔婆を手元で繰ってお戒名を唱え続けると、不思議な高揚感と有り難さに包まれたのをよく覚えています。参加した方々と一緒にお唱えする塔婆供養御和讃は、心にグッと響きました。

私たちは亡くなった方のご様子を直接伺うことはできません。見えない世界だからこそ、せめてものお手助けをせずには居られない、その気持ちに仏心というもののなのでしょう。

いつかこの塔婆供養の法要を、宝泉寺でもやりたいものだと思っています。亡き方と、御仏を身近に感じることのできる、よい機会になると思うのです。

日々もこもこ



朝はだいけいくんが起こしに来ます

おながすいたぞ! ごはんごはん!

恵海日記

えかいにつき

6月の18日から28日までの10日間、大本山天龍寺にて4年ぶりに特別住職学研修会と言うものが開催されます。これは「布教師」と言う地方へ行つて法話をする資格を得る為の研修で、天龍寺、大徳寺、相国寺、南禅寺、建仁寺、東福寺と京都の各本山持ち回りで2年に1度開催されます。宝泉寺のご住職も私も過去この研修に参加させて頂きました。朝から晩までひたすら法話の勉強をさせて頂けるというとても有意義な研修であります。私は有難くも4年前の建仁寺での研修にて資格を頂戴しましたので、今回はそのお礼奉公としての参加となります。ちなみに宝泉寺ご住職も平成20年に同じく建仁寺で合格されましたので私は不思議なご縁を感じずにはおれません。前回ご指導いただいた講師の和尚様方、先輩和尚様方、そして同期の和尚様方達とまた法話漬けの日々が送れると思うと同時に今からワクワクすると思身に身の引き締まる思いが致します。

つかつて「学生気分ではないんじゃない」とよく先輩に叱られたものです。当然の事ながらお喋りと法話は全く違います。お恥かしな話ですが私は大勢の人の前で話すのは苦手で、檀家さんからの何気ない仏教の質問にもしつかり答えられない事があつて悩んでおり、仲良くして頂いている先輩和尚様に相談したところ「それならうってつけの素晴らしい研修があるよ」と教えて頂いたのがこの布教研修会でした。6年前の南禅寺での布教研修会に何も分からず飛び込み、大変苦労したのですがここで本当に沢山のご縁を頂きました。宝泉寺ご住職との法縁もここで深めて頂いたと勝手に思っております。この南禅寺での研修中に宝泉寺ご住職が会中見舞いに来てくださいました。その時にご住職が私にマンツーマンで懇切丁寧に法話のいろはを教えて下さった事は私にとって一大転機となったのです。そして先生方も受講生も皆が一つになつて仏教に一生懸命、法話に全力で取り組んでいる姿を見て私は布教師と言う資格に強く憧れを抱く様になりました。何とか資格を頂きはしましたが、まだまだ未熟者、今回の研修がこれからの宝泉寺の法務にも生かせるように一受講生として鍛え直してもらつてきます。



寺務長通信

いつもありがとうございます！寺務長の関根です。

早いもので、お寺で勤め始めて1年が経ちました。「寺報で読んだあの寺務のひとだね」なんてお声がけされたり、「関根さん」と名前で呼んでいただいたり、本当に嬉しい限りです！まだまだ、もつともつと、皆さまのお役に立てるよう、努めてまいりますので、これからもご指導の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、話は変わります。前回の寺報で手すりの塗り直しや安全補強をしたことをご紹介いたしました。が、今回はこちら！（写真①&②）土留め（どどめ）といわれる、土砂などが流れ出ないようにする補修工事をいたしました。こちらもご住職自らが、切る、打つ、塗る、であつという間に完成！

手際の良さは、もはや素人ではないデス……（笑）。こちらでもお寺のお役に立てるよう、努めます！他にもツバメの巣の保護をしたり、ハチ対策をしたり、いろんな箇所を直してみたり……。実はほとんどのことをご住職がやつてます。純粋に「すごい！」と感じる関根でございます。最後にご報告です。私の前職（仏壇店勤務）の知識や経験を活かし、お仏壇や仏具、お位牌など

に関するご依頼も承れるようになりました！どうぞいつでもお気軽にご相談くださいませ。

写真①▶



◀写真②

あいうえお用語辞典 {の} 衲子 (のっす)

禅宗のお坊さんは自分のことをこう呼びます。衲（衲衣）を着ているワタクシ。子はへりくだつて「子供みたいに未熟な者で」という意味で使います。実際は自分を「のっす！」と呼ぶ人はあまりおらず。お力たい文章の中だけで使います。

令和五年 年忌表

令和四年に亡くなった人は	一周忌です
令和三年に亡くなった人は	三回忌です
平成二十九年に亡くなった人は	七回忌です
平成二十三年に亡くなった人は	十三回忌です
平成十九年に亡くなった人は	十七回忌です
平成十三年に亡くなった人は	二十回忌です
平成九年に亡くなった人は	二十回忌です
平成三年に亡くなった人は	三十三回忌です
昭和六十二年に亡くなった人は	三十七回忌です
昭和五十六年に亡くなった人は	四十三回忌です
昭和五十二年に亡くなった人は	四十七回忌です
昭和四十九年に亡くなった人は	五十回忌です

年忌にあたる仏様がおられましたら、ご法要を営みましょ

お盆総供養 開催いたします！

昨年に引き続き「宝泉寺盂蘭盆会総供養」が、宝泉寺別院にて開催されます。今回は、午前と午後の二回に分けて行います。
宝泉寺盂蘭盆会総供養
七月十六日（日）
一、午前十一時〜
二、午後三時〜



各回 法話と法要
どちらの回にご参加いただいても大丈夫です！
※感染症対策を施した上でお迎えいたしますが、当日の体調第一。ご無理をなさらないでご参加ください。

また、ご自宅での棚経をご希望の方はご連絡ください。
ご来山、お待ち申し上げます！

霊園だより

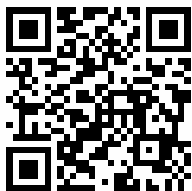
霊園管理事務所から
梅雨空の下蒸し暑くじめじめとした日が続きます、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、当霊園におきましては「お墓花」を長年同価格で販売してまいりましたが、昨今の原材料費及び燃料費等の価格上昇に伴う仕入れ価格の高騰により販売価格を見直させていただきましたこととなりました。価格改定の時期及び価格に関しては表記の通りとなりますのでご理解いただきま

すようお願い申し上げます。
管理事務所
畑山 浩司

お墓花価格改定のお知らせ

改定の時期
令和5年7月1日より

種 類	価 格	変更前	変更後
並 花		1,300円	1,500円
上 花		2,000円	2,200円
特 花		3,000円	3,300円



YouTube 宝泉寺チャンネル！

宝泉寺の行事と法話が見られる
YouTube宝泉寺チャンネル！
過去行事も見られます。
是非ご覧下さい。